

第482回 役員会議事要旨

- 1 日 時 平成29年5月22日(月) 15:00～15:50
- 2 場 所 特別会議室(事務局2階)
- 3 出席者 佐藤学長
吉澤企画担当理事, 加藤総務担当理事, 伊藤教育担当理事, 郡研究担当理事, 大河原社会連携担当理事
[陪席]
山内監事, 澁谷監事, 柏倉副学長, 作花副学長, 神本学長特別補佐, 堀内学長特別補佐, 日景学長特別補佐, 福田学長特別補佐
三浦総務部長, 久保田財務部長, 金澤学務部長, 沼本施設環境部長, 亀谷研究推進部長, 小山社会連携部長, 川村病院事務部長, 石戸谷学長戦略室企画調整役, 佐藤総務広報課長, 長谷川総務広報課課長補佐, 齋藤総務・秘書グループ主任, 浅利企画課長, 村市財務企画課長, 坂本予算企画室長, 花田予算企画係長, 三上研究推進課長

4 配付資料

- 資料 1-1 平成28年度中期目標達成促進経費実績報告 [総表]
- 資料 1-2 平成29年度中期目標達成促進経費事業計画 [総表]
- 資料 1-3 平成28年度実績報告及び平成29年度事業計画 (企画担当)
- 資料 1-4 平成28年度実績報告及び平成29年度事業計画 (教育担当)
- 資料 1-5 平成28年度実績報告及び平成29年度事業計画 (研究担当)
- 資料 1-6 平成28年度実績報告及び平成29年度事業計画 (社会連携担当)
- 資料 2-1 国立大学法人弘前大学における新たな教員業績評価(試行)実施要項の一部改正及び制定について
- 資料 2-2 国立大学法人弘前大学における新たな教員業績評価(試行)実施要項新旧対照表
- 資料 2-3 国立大学法人弘前大学における新たな教員業績評価(試行)実施要項(平成29年度業績)
- 資料 2-4 平成28年度事業に係る新たな教員業績評価(試行)結果について
- 資料 3 平成28年度間接経費の使途(実績)
- 資料 4 平成29年度社会連携推進機構連携推進員受入者一覧
- 当日配付 国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第3期中期目標期間における各年度終了時の評価に係る実施要領
- 当日配付 平成27年度及び平成28年度に係る業務実績自己評価項目数(H29.05.17現在)【要回収】

5 審議事項

○佐藤学長から, 5月8日開催の第481回の議事要旨(案)の確認が行われ, 原案どおり承認された。

審議 なし

6 報告事項

報告1 中期目標達成促進経費について

(1) 総務担当理事分について

加藤理事から, 資料1-1～1-2に基づき, 平成28年度の実績及び平成29年度の事業計画の総表について報告があった。

(2) 企画担当理事分について

吉澤理事から, 資料1-3に基づき, 平成28年度の実績及び平成29年度の事業計画について報告があった。

- (3) 教育担当理事分について
伊藤理事から、資料1-4に基づき、平成28年度の実績及び平成29年度の事業計画について報告があった。
- (4) 研究担当理事分について
郡理事から、資料1-5に基づき、平成28年度の実績及び平成29年度の事業計画について報告があった。
- (5) 社会連携担当理事分について
大河原理事から、資料1-6に基づき、平成28年度の実績及び平成29年度の事業計画について報告があった。

報告2 国立大学法人弘前大学における新たな教員業績評価（試行）実施要項の一部改正及び制定について

吉澤理事から、資料2に基づき、国立大学法人弘前大学における新たな教員業績評価（試行）実施要項について、評価の対象を平成28年度業績に限定するための一部改正と、平成29年度業績を対象として行う新たな教員業績評価（試行）実施要項を制定することについて報告があった。

報告3 平成28年度間接経費の使途について

郡理事から、資料3に基づき、平成28年度間接経費の使途について報告があった。

報告4 平成29年度連携推進員の受入れについて

大河原理事から、資料4に基づき、平成29年5月1日から「派遣型」として受け入れる連携推進員について報告があった。

7 その他

(1) 第3期中期目標期間における評価方法の変更について

吉澤理事から、当日配付資料に基づき、第3期中期目標期間における文部科学省によるヒアリング実施サイクルが、従前の毎年度実施から、割り振られた年度実施に変更となったこと。また、国立大学法人評価委員会による業務の進捗状況の評定が5段階から6段階に変更したことなどについて報告があった。

(2) 平成28年度業務実績の評価について

吉澤理事から、当日配付資料に基づき、平成29年5月17日現在での業務運営・財務内容等の状況における27年度と28年度の自己評価項目数について報告があった。併せて、本件については、年度計画の進捗状況を再度照会するので、全体的に見直していただきたい旨の依頼があった。

(3) 役員会の開催方法について

学長から、今年度の役員会から審議事項がない場合は紙上会議としているが、今後は報告事項のみの場合であっても内容によって開催の有無を判断する旨の発言があった。

(4) 防衛省予算における研究助成費等への対応について

学長から、防衛省予算における研究助成費等については、既に郡理事から今年度は暫定的に応募しないことを提案いただき、全学的に了解いただいているが、現学長の任期中は当該関連研究予算には申請しないことを本学の基本姿勢として決定したい旨の発言があった。併せて、本件については、教育研究評議会に報告する旨の発言があった。